

「あなたも生まれ変わることができる」

～出会いが人生を変えていく～

「するとたちまち、パウロの目から、うるこのようなものが落ち、目が見えるようになりました。彼は直ちにバプテスマ(洗礼)を受け、食事をとると、すっかり元気を取り戻しました。パウロはそれから数日の間、ダマスコのクリスチャンといっしょに過ごす、すぐにも会堂へ行き、『イエスは神の子である』と語り始めました。」

使徒行伝9章17～20節 [リビングバイブル]

ここがことわざの「目からうるこが落ちる」という起源になる場所です。

歴史上最も偉大な宣教師、伝道者と呼ばれるパウロの誕生の場面です。

彼は自分の信じていた道に従って、疑いのかけらもなく、信じ切つて(というよりも“洗脳”されているような状況の中で)歩んでいました。しかし、その彼の人生に「待た！」をかけるようにして主イエス様が彼に衝撃的に出会って下さいました。そして、三日間全く目が見えず、口には何も入れずに過ごしました。ずーっと閉じこもり、一人で過ごしていたことでしょう。誰とも会って話ができないような状況だったかもしれません。そんな中で第二の出会いの時がありました。それは主から遣わされたアナニヤとの出会いでした。人殺しのパウロに出会うことをためらっていたアナニヤでしたが、彼の人生が変わったことを知って、勇気を持って会いに出かけに行きました。そこで、上記のような奇蹟がなされて、パウロに新しい人生を生きる勇気を持たせることができました。それ以来、食事もできるようになり、教会の交わりにも参加できるようにパウロの心が回復していきました。そして、第三の出会いは、主にある兄弟姉妹、教会との出会いでした。その命とぬくもりのある真実な出会いを通して、彼は更に勇気と確信を持って、今度は、外部の人々に、イエス様こそがキリスト(救い主)であり、神であることを大胆に確信を持って語り始めました。彼が新しい自分自身を受け入れるだけ(being)ではなくて、自分自身が何をすべきか(doing)という部分にまで、シフトしていくことができるようになりました。これほどの180度の展開を短期間で成し遂げられたのは、もちろん神様ご自身の恵み以外の何ものでもありませんが、その主のお心によって動かされた働き人たちによって、偉大な伝道者が生れたと言えます。現代のパウロのような伝道者、ビリー・グラハム先生が99歳で天に召されました。この器も、闘いながら、信仰を持って語り続けた主のしもべでした。

友人で同様に伝道者であった仲間が信仰を捨てて無神論者になってしまうような現実の中で、ビリー・グラハム師は一人深い森の中に入って行って、神に熱く祈り求めました。自分の信仰を奮い立たせるために。そして、そこで、自分の信仰を奮い立たせ、“わたしはあなたを信じます！あなたに従います！”と神の心に自分を合わせるようにして立ち上がりました。